

1 ● 特 長

JFE430CuNは耐錆性と成形性、溶接性を改善したフェライト系ステンレス鋼です。JFE430CuNは通常のSUS430に比べCr含有量を3%高め、さらにCuを0.5%含有させることにより耐錆性を向上させています。同時にC、N含有量を低下させた上にNb添加によってC、Nの安定化を図っているため、成形と溶接性が一段とすぐれています。

2 ● 用 途

JFE430CuNはSUS430の耐錆性、成形性、溶接性を向上させた鋼種であり、下記のような用途に適しています。

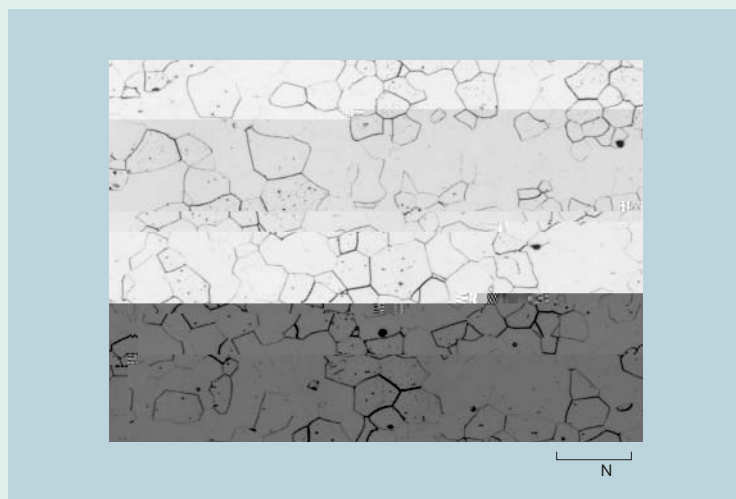
- 自動車モール材
- 厨房機器
- 家電部品
- 建築用部材
- ショーケース部品等の内外装材

3 ● 化学成分と組織

Ü- }=¶RüφO"yË£

Ryü	\$	4J	.O	1	4	\$S	/J	\$V	/C	/
Fy"	½	½	½	½	½	Ö	½	Ö	Ö	½
E"«										

Üø }+'& \$V/wÛ«éËë



4 ● 性質

4.1 機械的性質

表2 . 機械的性質 (0.4mmt、BA仕上げ)

	¾ Á M²	1— φ LHG N	¾ Á S ^ φ LHG N	óyy φ É£	xyy^ φ)W£
î w <	-				
	%				
	\$				
	É <				
F " <	-	ží	ží	ží	ž<

4.2 成形性

財

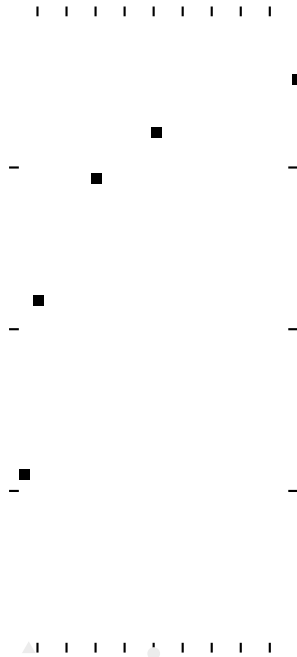
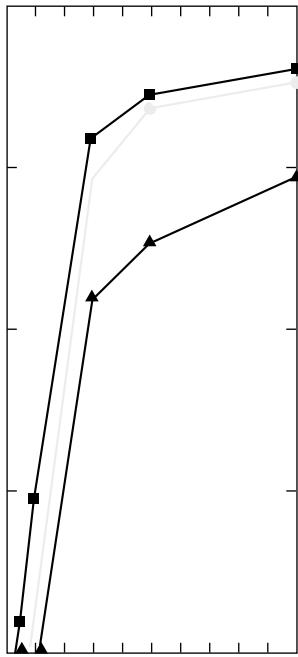
			Ú s	o

de	-%3	Ā	ē
ŋ	đ	Ā	ē

財
財
財

財

ŷ	\$"44	+Ā	40	đ
	đ	đ	đ	đ&£
+'&\$V				
464				
464				
464				

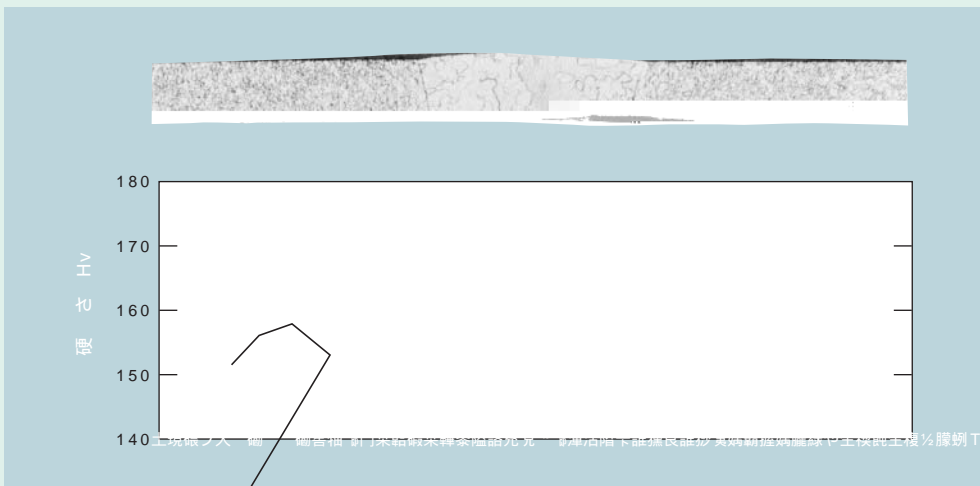


4.4 溶接性

表6 . Tig溶接条件

板厚 (mm)	溶接電流 (A)	溶接速度 (mm/min)	Arガス流量 (l/min)	
			トーチ側	裏側
0.8	30	150	15	2
2.0	100	150	15	2

図3 . 溶接部の組織と硬度



0.2%耐力 (kgf/mm ²)	引張強さ (kgf/mm ²)	伸び (%)	曲げ (r = 0t)
32	46	33	良好

*) 板厚0.8mm、Tigなめ付け溶接

表8 . 溶接部の耐食性¹⁾

CASS試験 ²⁾		孔食電位 ³⁾ (mVSCE)
ビード表面	ビード裏面	
9.6	9.6	222

1) Tigなめ付け溶接後 # 500研磨仕上げ

2) JIS D 0201 (レンティングナンバーによる評価)

3) JIS G 0577

<http://www.jfe-steel.co.jp>

111 FA 03(3597)4860

大阪支社 〒

名古屋支社

1号(名古屋ルーセントタワー18F)

北海道支社

札幌市中央区北五条西2丁目5番(JRタワー17F)

東北支社

仙台市青葉区一番町4丁目1番25号(東二番丁スクエア3F)

新潟支社

新潟市中央区東大通1丁目3番1号(新潟帝石ビル4F)

北陸支社

富山市桜橋通り3番1号(富山電気ビル3F)

中国支社

広島市中区袋町4番21号(広島富国生命ビル7F)

四国支社

高松市サンボ - ト2番1号(高松シンボルタワ -

九州支社

千葉営業所

神奈川営業所

番

静岡営業所

静岡市駿河区森下町1番35号(静岡MYタワー13F)

岡山営業所

岡山市北区中山下1丁目1番1号(NTTクレド岡山ビル18F)

沖縄営業所

那覇市久茂地3丁目21番1号(國場ビル)

海外事務所

ニューヨーク、ヒューストン、プリズベン、ブラジル、ロンドン、ドバイ、ニューデリー、ムンバイ、シンガポール、バンコック、ベトナム、ジャカルタ、マニラ、ソウル、北京、上海、広州

お客様へのご注意とお願い

- 本カタログに記載された特性値等の技術情報は、規格値を除き何ら保証を意味するものではありません。
- 本カタログ記載の製品は、使用目的・使用条件等によっては記載した内容と異なる性能・性質を示すことがあります。
- 本カタログ記載の技術情報を誤って使用したこと等により発生した損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
本カタログ記載の単位においてN/mm²はMPaと等価です。